

「1日型フェンタニルパッチの適正使用に関する研究」について

○研究の目的

1日型フェンタニルパッチは経皮吸収型のオピオイド製剤であり、がん性疼痛治療に使用されます。貼付剤であるため、内服が困難になった患者にも使用することができるという特性をもち、有用な薬剤であると考えられますが、適正に使用されないと呼吸抑制や意識障害の重大な副作用が出やすいなど、注意しなければならない点が多々あります。広島大学病院での使用状況から適正使用についての調査を行うことにより、問題点が明らかとなり、1日型フェンタニルパッチの適正使用の推進につながるものと考えます。

○研究の方法

平成24年2月1日から平成25年1月31日までに、広島大学病院の院内で(院外処方を除く)1日型フェンタニルパッチを処方された患者を対象とします。(約50症例が集まり次第終了)
本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。カルテから転記する内容は、①患者基本情報②病名、病状③治療方法④投薬歴⑤副作用です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

*研究期間 平成25年2月1日～平成25年12月31日

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....

お問い合わせ先
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
TEL : 082-257-5573
広島大学病院薬剤部
角山政之(研究責任者)